

電気けいれん療法の話

病院の理念

県民の心の健康を支える 質の高い医療の提供



持続可能な開発目標(SDGs)と看護 こころNEWS 医療相談室より研修会のお知らせ 診療のご案内

編集:広報委員会 発行:山口県立こころの医療センター

山口県宇部市東岐波4004-2

TEL:0836-58-2370 (代表)







電気けいれん療法の話

精神科治療技法の一つに、電気けいれん療法(ECT)というものがあります。ECTは頭部に電気刺激を与えて脳にけいれん発作を起こし、精神症状の改善を得ようとする治療法です。ECTが誕生してから80年以上が経過しました。

一昔前のECTは、電気刺激を与えると、全身にけいれん発作が起きるので、見た目が残酷的で、脱臼や骨折などの有害事象も起きていました。 1975年のアメリカ映画「カッコーの巣の上で」の中で、お仕置き的に電気けいれん療法をされた場面もあって、あまり治療法として流行らない時期が続きました。

しかし、1980年代頃から改めてECTの有用性が評価され、適正使用や安全性を高める工夫や技法が発展しました。現在は麻酔薬と筋弛緩薬を用いた修正型電気けいれん療法(m-ECT)が行われています。筋弛緩薬を使用するのでけいれんが起きるのは脳の中だけであり、周囲からは麻酔が効いて眠っているようにしか見えません。脳の中のけいれんがどのように起こっているかは脳波で評価します。電気ショック療法、電気治療などとも呼ばれたこともありますが、今はECTやm-ECT、電気けいれん療法と呼んでいます。実際この治療はショックとは全く関係がありません。

当院でも施行していますが、効果出現の早さや効果の大きさ、安全性の面で優れており、重症うつ病など生命に関わる緊急時、薬や食事が摂れない全身状態悪化時、効果あるいは副作

用の面で薬物療法など他の治療が上手くいかない時などにしばしば有効です。

具体的には、左右のこめかみ辺りに電極を貼り、そこに通電します。その刺激でけいれん発作が起こりますが、通電前に筋弛緩薬を投与しているので見た目にはけいれんは起こらず、脳の中だけでけいれんが起こります。通常、30秒から1分以内にけいれんは自然に治まります。その間、本人は麻酔されているため眠っています。麻酔から覚めると治療終了です。開始から終了まで20~30分程度です。これを週1~2回、数週間行います。

ECTが、脳に損傷を与えるとか人格を変えてしまうといった考え方、映画で描かれていたような恐怖の治療というイメージはすっかり過去のものとなっています。今は精神科治療の中で、薬物療法や精神療法、心理社会的療法などに加えて積極的に検討される治療法になっています。

術場写真



持続可能な開発目標(SDGs)と看護

看護部長

荒川▶

みなさんもご存じのとおり、世界は今、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社 会の実現を目指し、2030年を年限とする17項目の国際目標(SDGs: Sustainable Development Goals)を掲げ、それぞれの国や地域で取組みを進めています。SDGsは良い未来へ導くための重要 な羅針盤になるものです。

私達の日々の生活の中では、意識することは少ないように思いますが、看護分野の将来を考える 上では切り離すことができないものの様です。実際に、日本看護協会では、17の目標のうち以下の 3つの目標について協会の使命、重点政策と合致するものとして、その達成に向けて取り組むと表明 していますので紹介します。



SDGs目標3 | すべての人に健康と福祉を

- ・全世代の健康を支える看護機能を強化し、あらゆる人に寄り添った看護を提 供すること
- 災害や感染症などの厳しい状況に対応するための地域の健康危機管理体 制を構築すること



SDGs目標5 | ジェンダー平等を実現しよう

・専門職としての可能性を広げ、あらゆるジェンダーにとって看護が魅力的な 仕事ができること



SDGs目標8 | 働きがいも経済成長も

- 看護職に対する適正な評価による働きがいのある環境づくりと同時に社会経 済の発展にも寄与すること
- 専門職としてのキャリア継続を支援すること
- ・地域における健康と療養を支える看護職の裁量を発揮すること

如何でしょうか。

(日本看護協会出版「看護」より一部抜粋)

私たちの日々の小さな頑張りが、世界の大きな目標達成につながっていくことを、時には意識してみま せんか?





外来棟が完成以降、約十数年振りに外来駐 車場の白線を引き直し、お車でお越しの際 に駐車しやすくなりました。ご来院の方が安 心して受診できるように整備していきます。

外来駐車場の白線を新しく引き直しました!







令和4年度

山口県高次脳機能障害リハビリテーション講習会

日 時:令和4年10月30日(日)13:00~16:15

形 式:WEB研修会(Zoomウェビナーによる配信)



シンポジウム

山口県作業療法士会

自動車運転対策

運転支援」

委員会委員

「暮らしを支える

≪講師≫

「高次脳機能障害の基礎知識と、山口県の支援状況について」 講演1

≪講師≫ 山口県立こころの医療センター 高次脳機能障害支援センター長 兼行 浩史 氏

講演2 「高次脳機能障害者の自動車運転再開について」

≪講師≫ 小波瀬病院 リハビリテーション科 部長 加藤 徳明 氏

主 催:山口県高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員会

共 催:高次脳機能障害「ぷらむ」山口、山口県、山口県立こころの医療センター



■ 申し込み:令和4年10月13日(木)締切 当院ホームページ(http://y-kokoro.jp)に 掲載されています事前登録フォームから お申し込みください。



■お問い合わせ 山口県立こころの医療センター内 高次脳機能障害支援センター(新井・石田)

TEL: 0836-58-1218



診療のご案内

-											
				外	来彰	察	担当	医			
		初	診					再		診	
	月	(物忘れ・高次脳) 兼 行	(一般) 角 田		磯	村	藤	田	(禁煙、第1・第3) 藤田・新造	山 大 派遣医師	
	火	(思春期、一般) 村田			青	島	坂	倉			
	水				兼	行	村	田	新造	青島	坂倉 (AM)
	木	(依存症) 藤田	(_{一般)} 新 造		兼	行	角	田	山 大 派遣医師		
	金	(一 _{般)} 坂 倉	-		藤	田	青	島	水本	山 大 派遣医師	

※最新は病院ホームページをご覧ください。

初診・再診とも予約制となっております。予めお電話でご予約されてご来院ください。

外来直通電話: 0836-58-2327



交通のご案内



お車/山口宇部道路「宇部東IC」より丸尾方面へ約5分 電車/JR宇部線「丸尾駅」より徒歩約15分 バス/宇部市営バス「東岐波中学校前」より徒歩10分

地方独立行政法人 山口県立病院機構 山口県立こころの医療センター

〒755-0241 山口県宇部市東岐波4004-2

TEL: 0836-58-2370 (代表)

: 0836-58-2327 (外来直通)

https://www.y-kokoro.jp/

FAX: 0836-58-6503

こころの医療センター



